

2015 中野区区民意識・実態調査

《概要版》

調査の概要

【調査の項目】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 定住意向 | 7 地震災害への対策 |
| 2 生活環境の満足度 | 8 男女平等 |
| 3 社会や地域との関わり | 9 医療保険制度 |
| 4 中野駅周辺 | 10 区政情報の入手 |
| 5 日用品等の購入 | 11 外国の方との交流 |
| 6 公園・広場利用 | 12 施策への評価・要望 |

【調査対象】 中野区民で20歳以上の男女個人

【標本数】 2,000人

【有効回収数】 1,277人（有効回収率63.9%）

【標本抽出方法】 層化二段無作為抽出法

【調査期間】 平成27年9月24日（木）～平成27年10月19日（月）

【調査方法】 郵送配布・郵送回収

概要版の見方

- 1 （複数回答）と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問です。
- 2 集計は小数点第2位を四捨五入して算出しているため、回答率を合計しても100%にはならない場合があります。
- 3 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出しています。このため、複数回答の設問については合計が100%を超えることがあります。
- 4 グラフや数表中の「n=*」（*は数字）は設問の回答者数を表します。

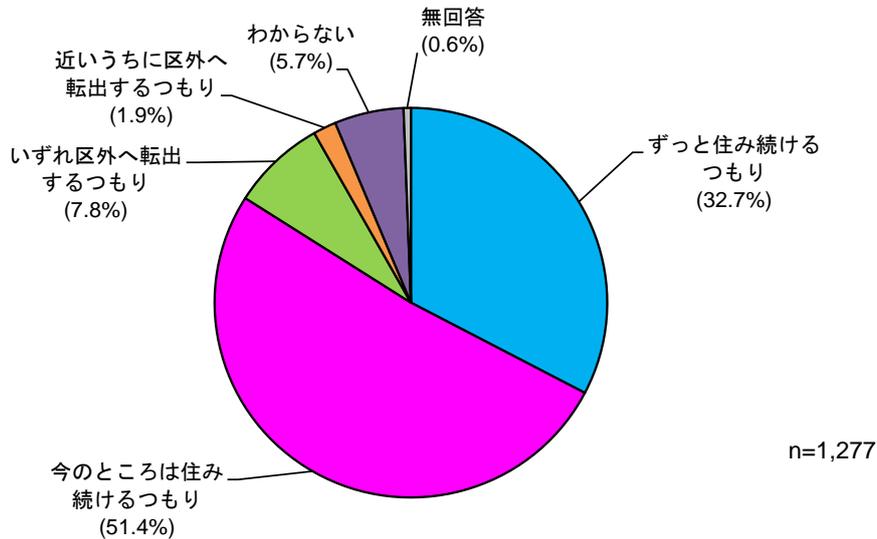
2016年（平成28年）2月

中野区

1 定住意向

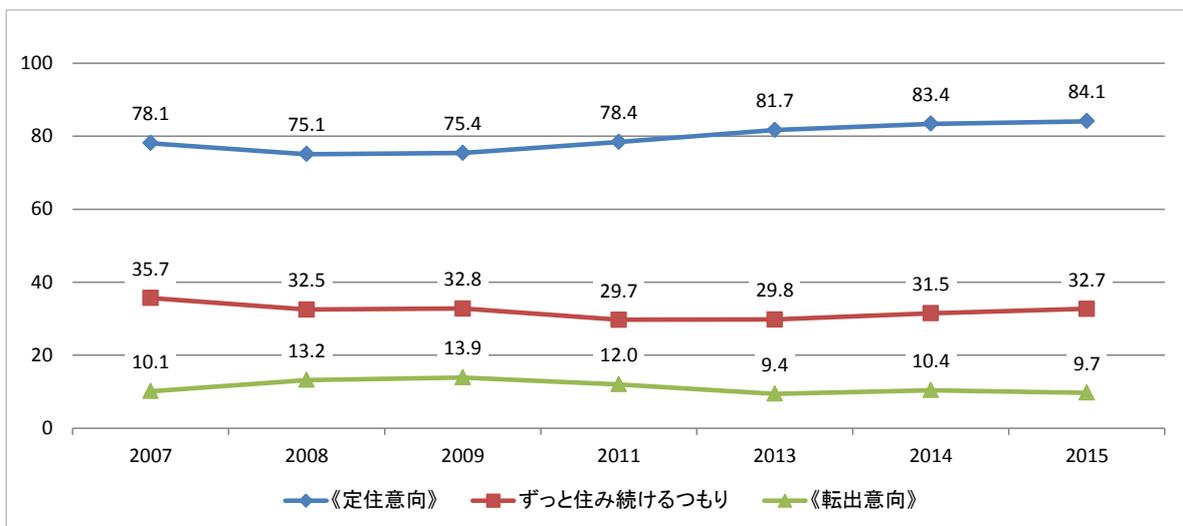
1 定住意向

定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(32.7%)、「今のところは住み続けるつもり」(51.4%)を合わせた《定住意向》は8割半ばとなっている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(7.8%)、「近いうちに区外へ転出するつもり」(1.9%)を合わせた《転出意向》は約1割となっている。



1-1 定住意向の推移

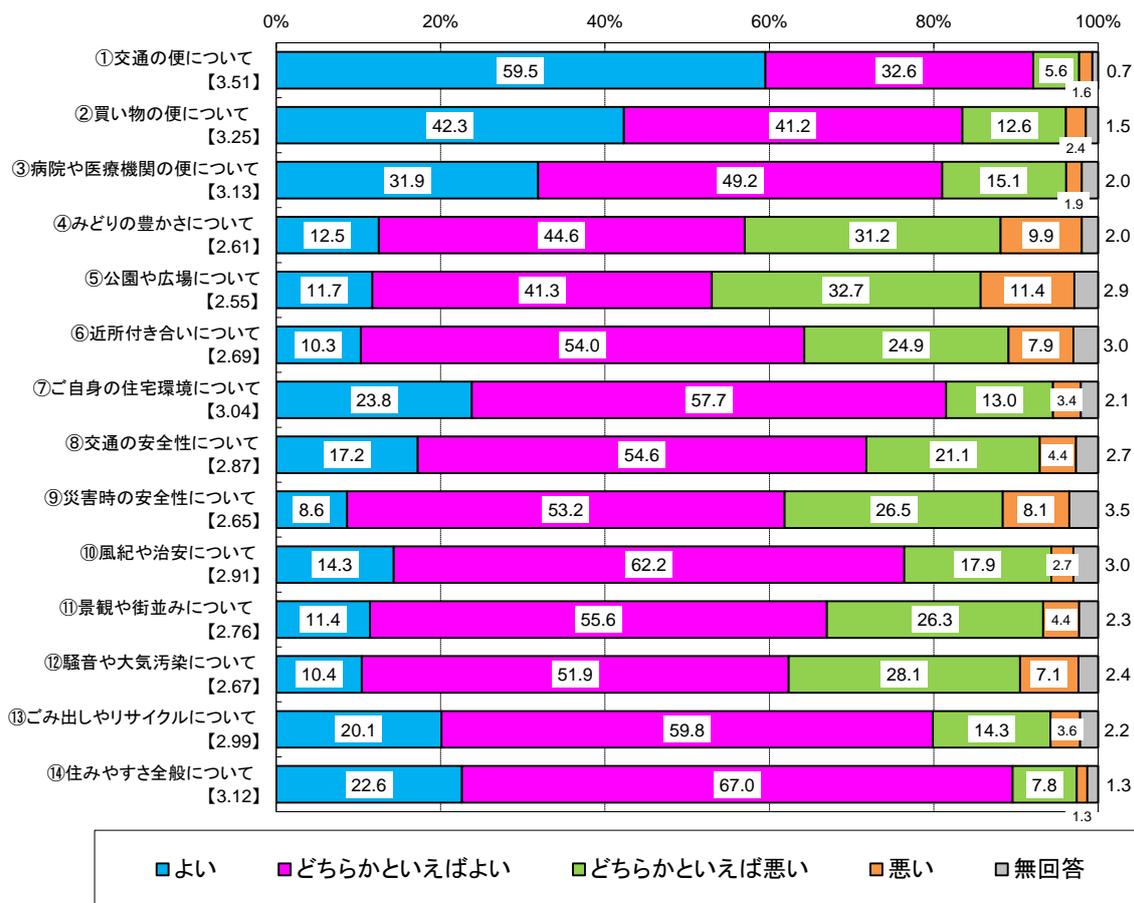
この推移をみると、《定住意向》では2007年以降減少傾向であったが、2009年から増加に転じ、今回は84.1%となっている。また、《転出意向》では2009年から2013年まで減少傾向にあり、2014年に増加に転じたものの、今回再び減少した。



2 生活環境の満足度

1 生活環境の満足度

自宅周辺の生活環境についてどのように感じるか14項目にわたり聞いたところ、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた《よい評価》では「①交通の便」(92.1%)と最も高く、次いで、「⑭住みやすさ全般について」(89.6%)、「②買い物の便について」(83.5%)となっている。一方、どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた《悪い評価》では「⑤公園や広場について」(44.1%)が最も高く、次いで、「④みどりの豊かさについて」(41.1%)、「⑫騒音や大気汚染について」(35.2%)となっている。



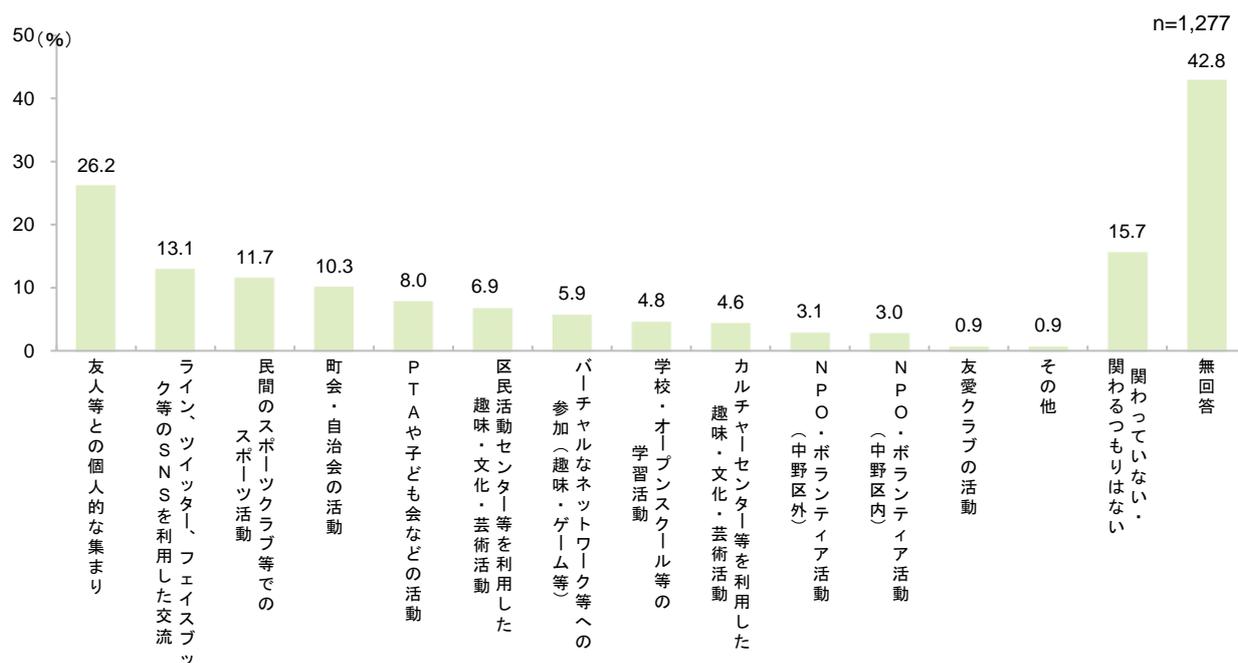
*平均は、選択肢「よい」は4点、「どちらかといえばよい」を3点、「どちらかといえば悪い」を2点、「悪い」を1点として、評価点を算出している

3 社会や地域との関わり

1 地域活動の状況

最近1年間に、仕事以外で社会や地域とどのような関わりがあったか（複数回答）を聞いたところ、「友人等との個人的な集まり」（26.2%）が最も高く、次いで「関わっていない・関わるつもりはない」（15.7%）、「ライン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを利用した交流」（13.1%）、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」（11.7%）となっている。

（複数回答）

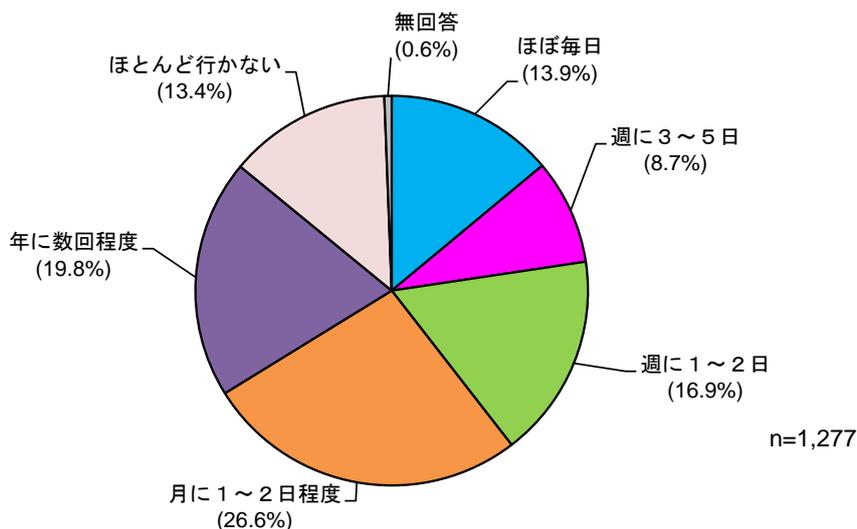


4 中野駅周辺

1 中野駅周辺の利用頻度

中野駅周辺へ行く頻度を聞いたところ、「月に1～2日程度」(26.6%)が最も高く、次いで「年に数回程度」(19.8%)、「週に1～2日」(16.9%)となっている。

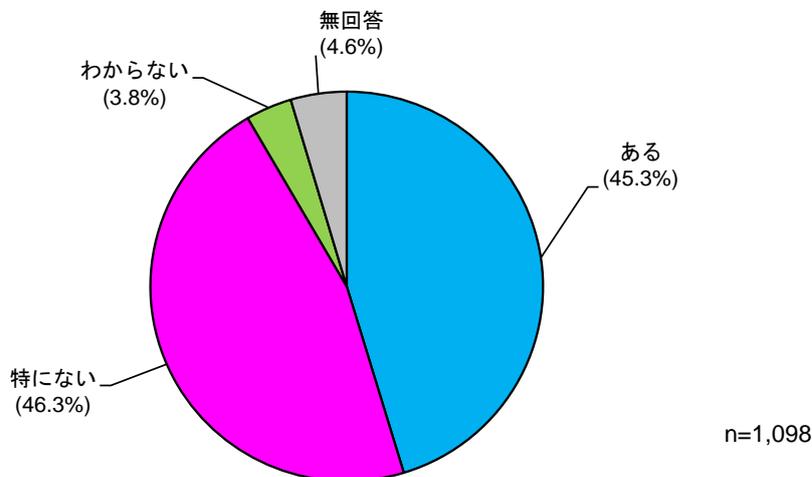
「ほぼ毎日」、「週に3～5日」、「週に1～2日」を合わせた《週1回以上》行く人は約4割である。



2 中野駅周辺を利用する際の不便・不満の有無

中野駅周辺を利用する人に不便や不快など不満の有無を聞いたところ、「特にない」(46.3%)が高く、次いで、「ある」(45.3%)となっている。

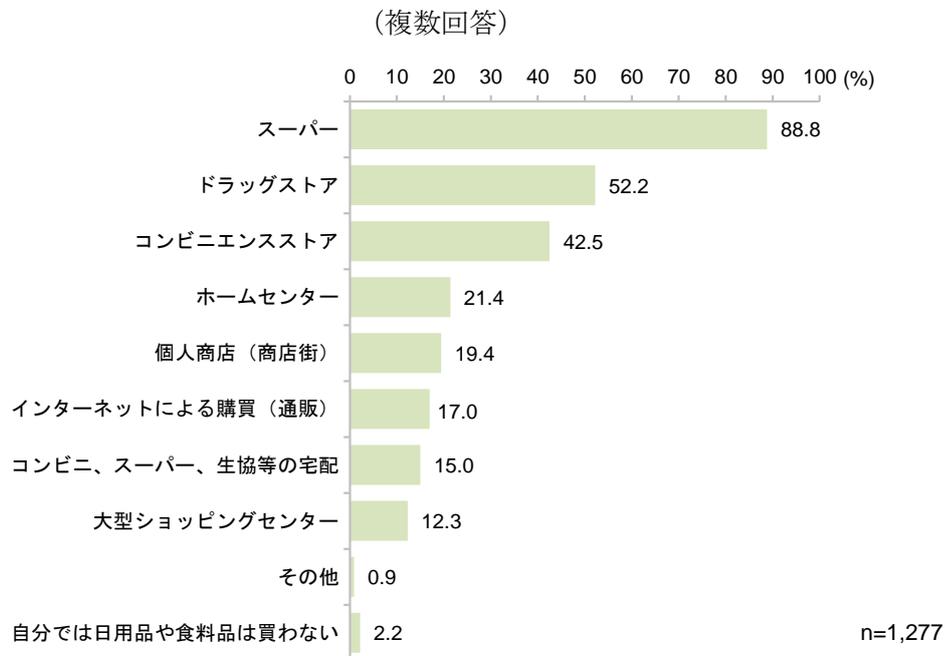
中野駅周辺を利用する人で不満がある人に不満の内容(複数回答)を聞いたところ、「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」(57.7%)が最も高く、次いで「混雑していて歩きにくい」(56.5%)、「自転車マナーが悪い人がいる」(36.4%)、「道路が狭い」(35.2%)となっている。



5 日用品等の購入

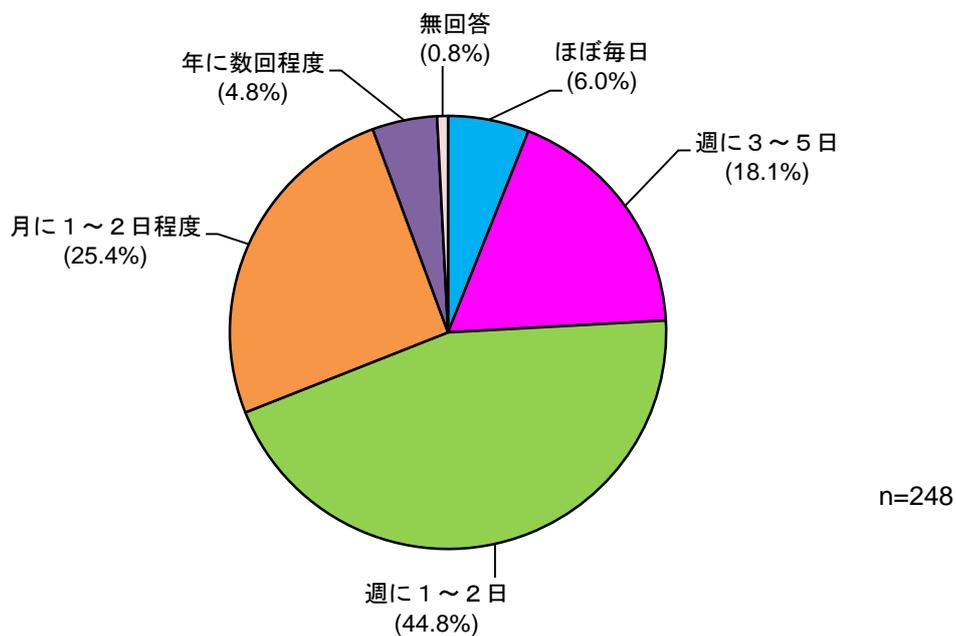
1 日用品や食料品の購入場所

日用品や食料品の購入場所（複数回答）を聞いたところ、「スーパー」（88.8%）が最も高く、次いで「ドラッグストア」（52.2%）、「コンビニエンスストア」（42.5%）となっている。また、「個人商店（商店街）」（19.4%）は約2割となっている。



2 個人商店（商店街）の利用頻度

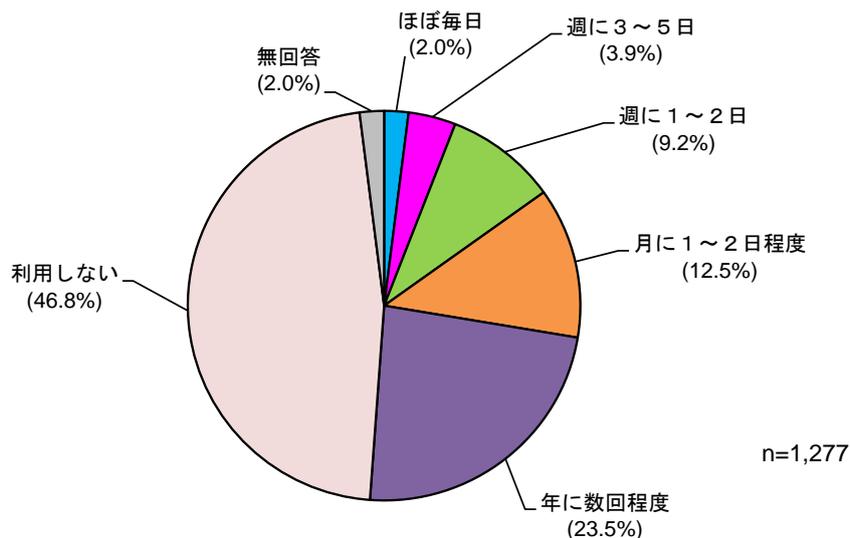
個人商店（商店街）で購入する人に購入頻度を聞いたところ、「週に1～2日」（44.8%）が最も高く、次いで「月に1～2日程度」（25.4%）、「週に3～5日」（18.1%）となっている。



6 公園・広場利用

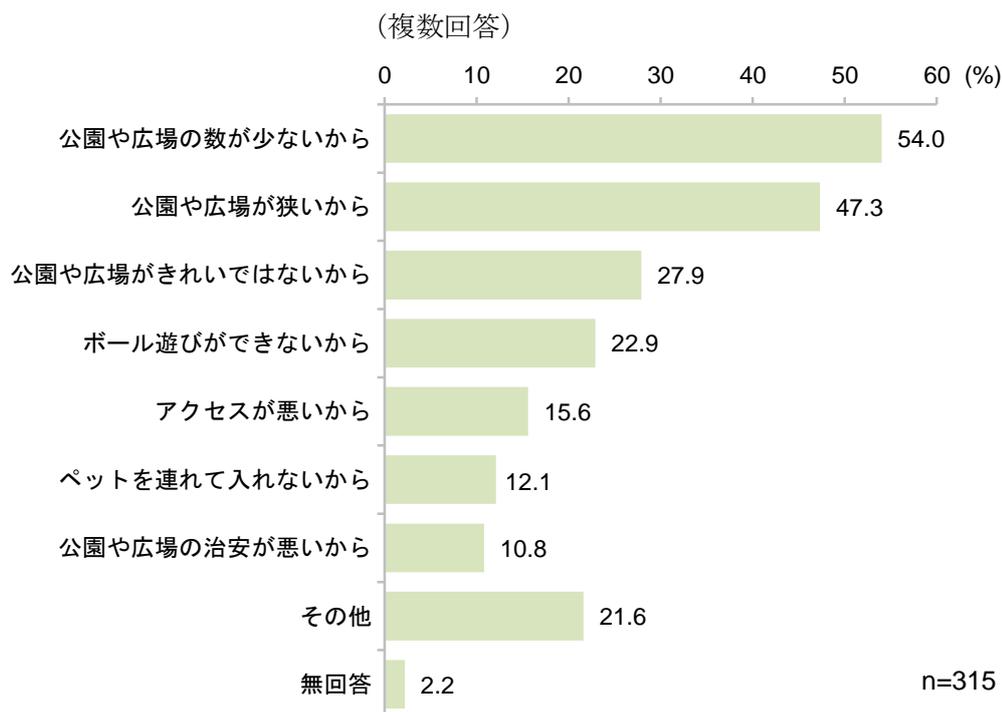
1 区内の公園や広場の利用状況

公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用しない」(46.8%)が最も高く、次いで「年に数回程度」(23.5%)、「月に1～2日程度」(12.5%)、「週に1～2日」(9.2%)となっている。



2 区内の公園や広場の不満理由

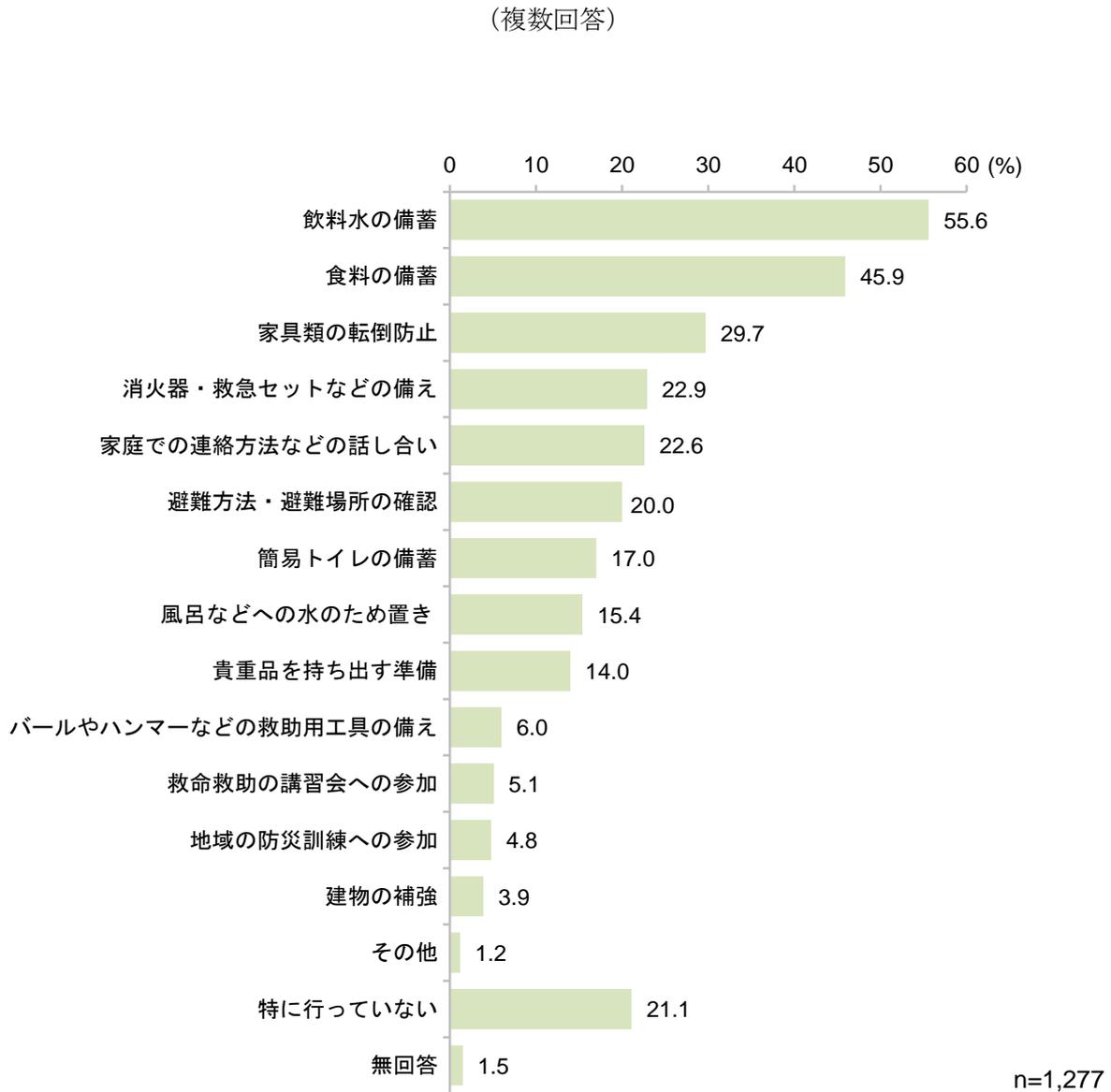
公園や広場に不満がある人に、不満の理由(複数回答)を聞いたところ、「公園や広場の数が少ないから」(54.0%)が最も高く、次いで「公園や広場が狭いから」(47.3%)、「公園や広場がきれいではないから」(27.9%)、「ボール遊びができないから」(22.9%)となっている。



7 地震災害への対策

1 家庭内での備え

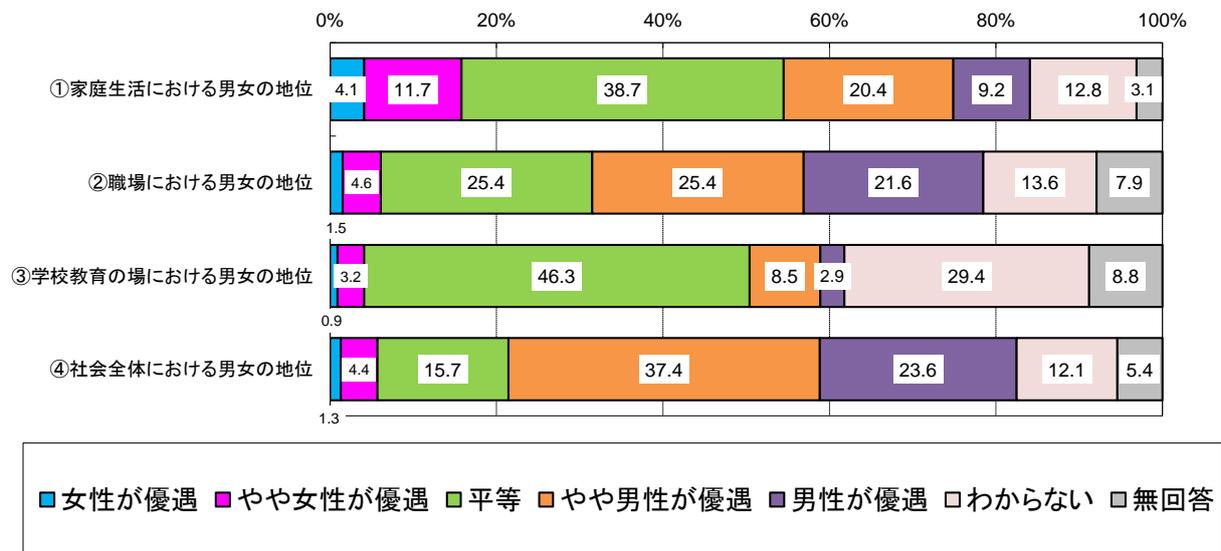
地震災害に備えた家庭内での対策（複数回答）を聞いたところ、「飲料水の備蓄」（55.6%）が最も高く、次いで「食料の備蓄」（45.9%）、「家具類の転倒防止」（29.7%）となっている。一方、「特に行っていない」（21.1%）では2割以上の人対策を講じていない。



8 男女平等

1 男女の地位の平等感

4つの分野において、男女の地位が平等だと思うかを聞いたところ、「平等」が最も高かったのは『学校教育』（46.3%）、次いで『家庭生活』（38.7%）、『職場』（25.4%）、『社会全体』（15.7%）となっている。

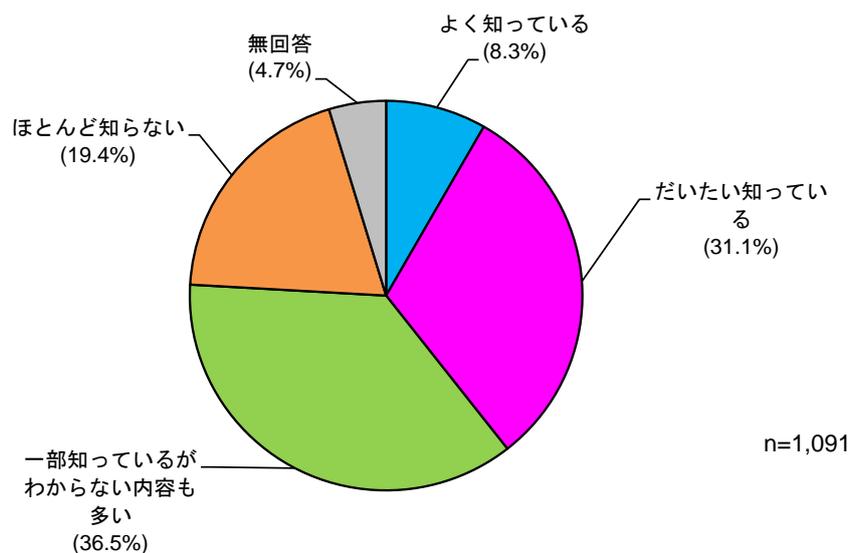


9 医療保険制度

1 国民健康保険のしくみの周知度

74歳以下の人に国民健康保険のしくみをどの程度知っているかを聞いたところ、「一部知っているがわからない内容も多い」(36.5%)が最も高く、次いで「だいたい知っている」(31.1%)、「ほとんど知らない」(19.4%)となっている。

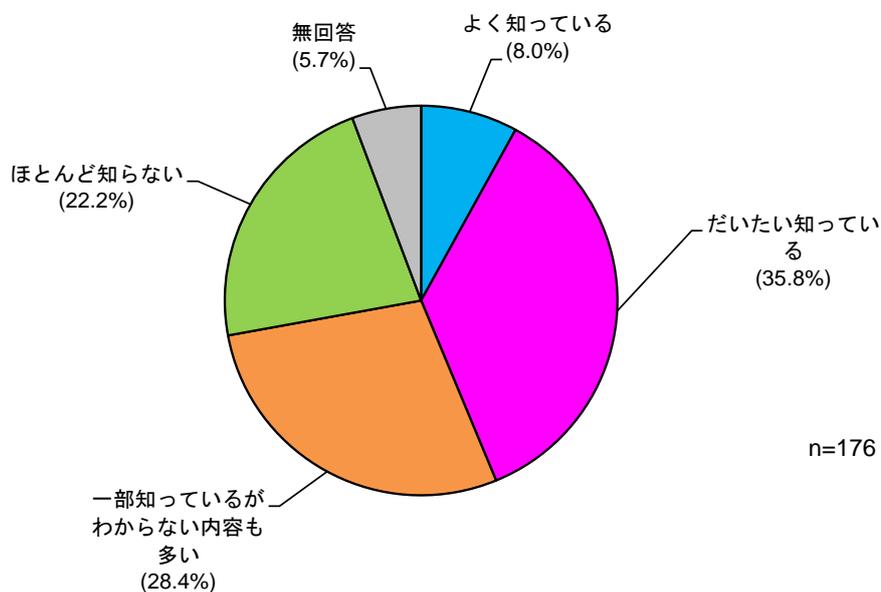
「よく知っている」、「だいたい知っている」、「一部知っているがわからない内容も多い」を合わせた《知っている》は7割半ばと高くなっている。



2 後期高齢者医療制度の周知度

75歳以上の人に、後期高齢者医療制度のしくみについてどの程度知っているかを聞いたところ、「だいたい知っている」(35.8%)が最も高く、次いで「一部知っているがわからない内容も多い」(28.4%)、「ほとんど知らない」(22.2%)となっている。

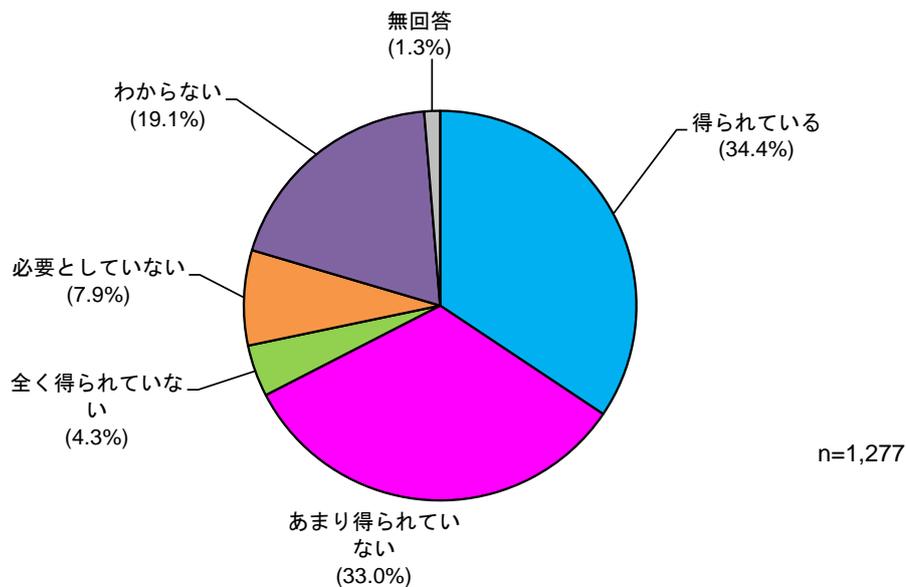
「よく知っている」、「だいたい知っている」、「一部知っているがわからない内容も多い」を合わせた《知っている》は7割強となっている。



10 区政情報の入手状況

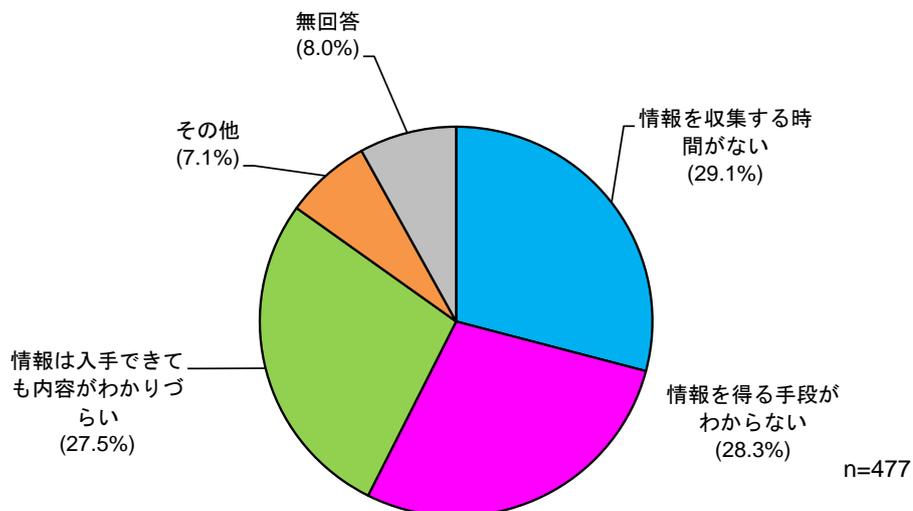
1 区政情報の入手状況

必要とする中野区政の情報が得られているかを聞いたところ、「得られている」(34.4%)が最も高く、次いで「あまり得られていない」(33.0%)、「わからない」(19.1%)、「必要としていない」(7.9%)となっている。「あまり得られていない」と「全く得られていない」を合わせた《得られていない》は4割弱である。



2 区政情報が得られない理由

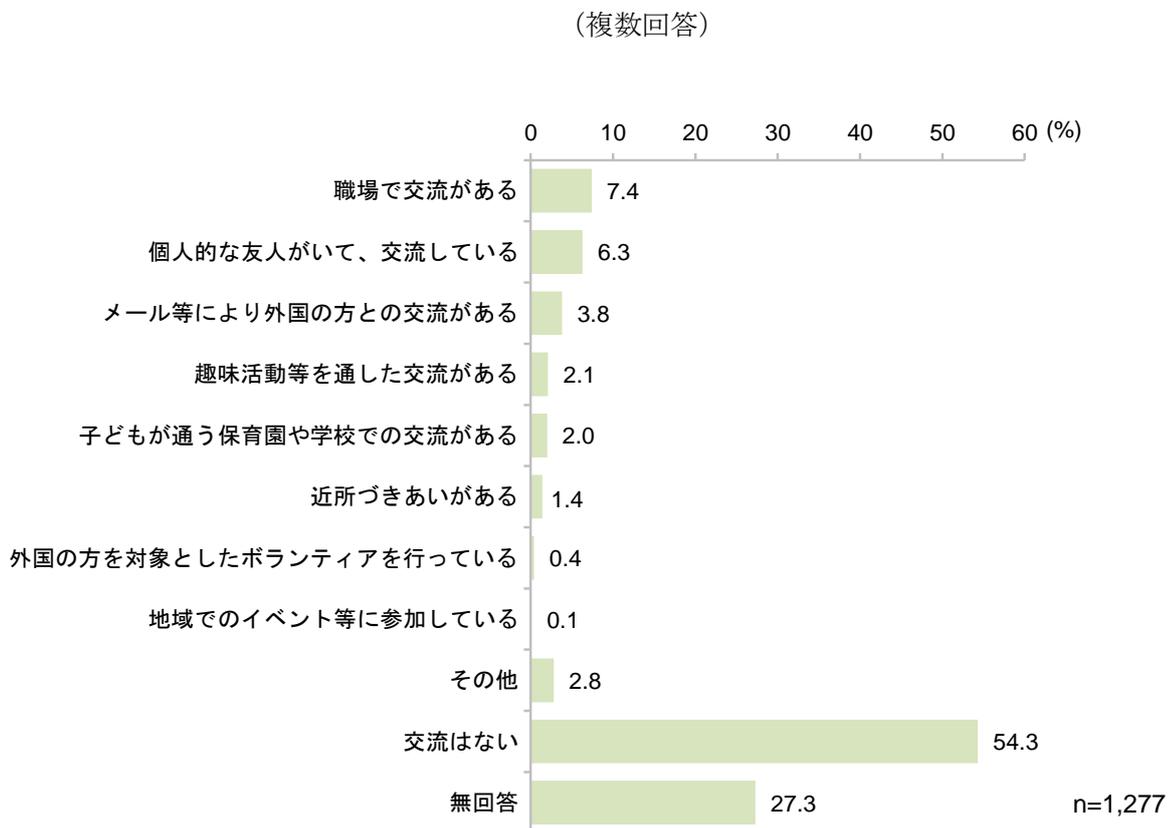
中野区政情報を得られていない人に、その理由（複数回答）を聞いたところ、「情報を収集する時間がない」(29.1%)が最も高く、次いで「情報を得る手段がわからない」(28.3%)、「情報は入手できても内容がわかりづらい」(27.5%)となっている。



11 外国の方との交流

1 外国の方との交流

外国の方との交流について（複数回答）聞いたところ、交流の場では「職場で交流がある」（7.4%）が最も高く、次いで「個人的な友人がいて、交流している」（6.3%）、「メール等により外国の方との交流がある」（3.8%）となっている。一方、「交流はない」では54.3%と最も高くなっている。



12 施策への評価・要望

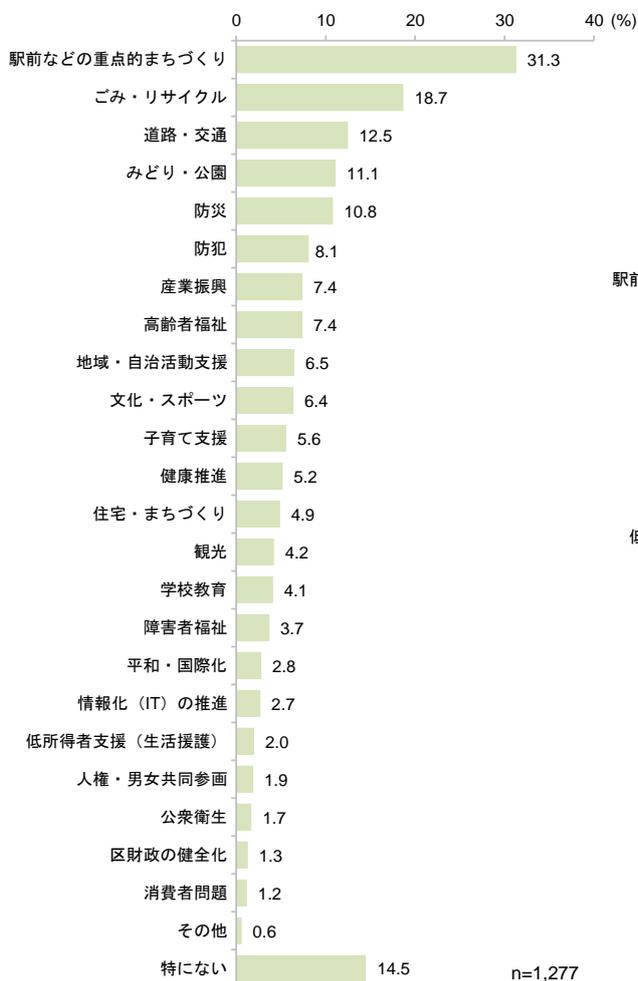
1 区の施策への評価と要望

区が特に力を入れていると評価できる施策（複数回答）を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」（31.3%）が最も高く、次いで「ごみ・リサイクル」（18.7%）、「特にない」（14.5%）、「道路交通」（12.5%）となっている。

また、今後特に力を入れてほしい施策を、第1位から第3位までの順位を聞いたところ、合計では「高齢者福祉」（27.0%）が最も高く、次いで「防災」（25.7%）、「防犯」（22.2%）となっている。

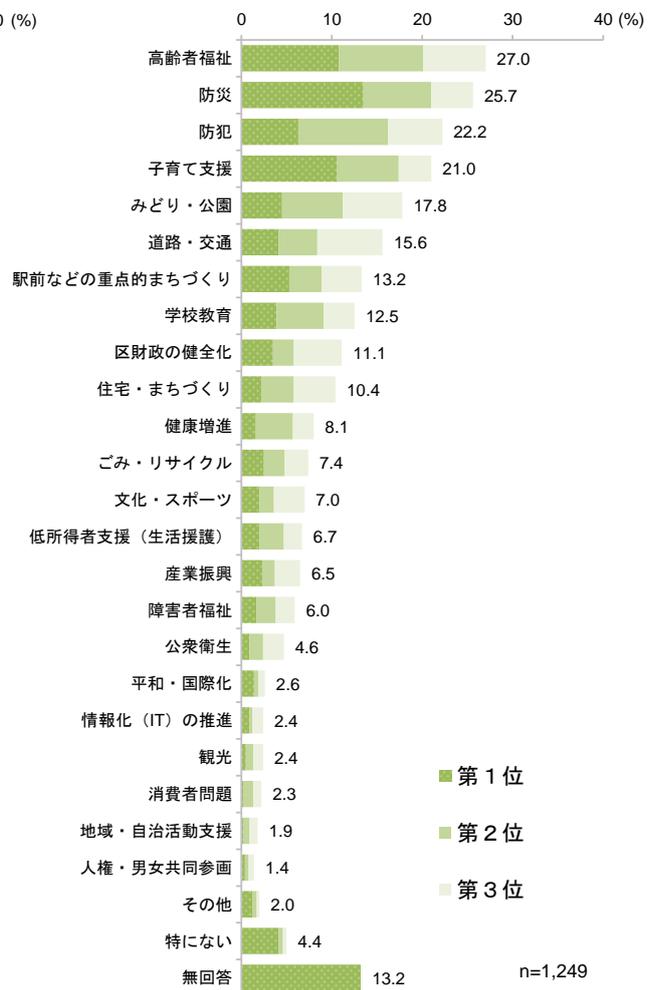
【区の施策への評価】

（複数回答）



【区の施策への要望】

（第1位～3位と合計）

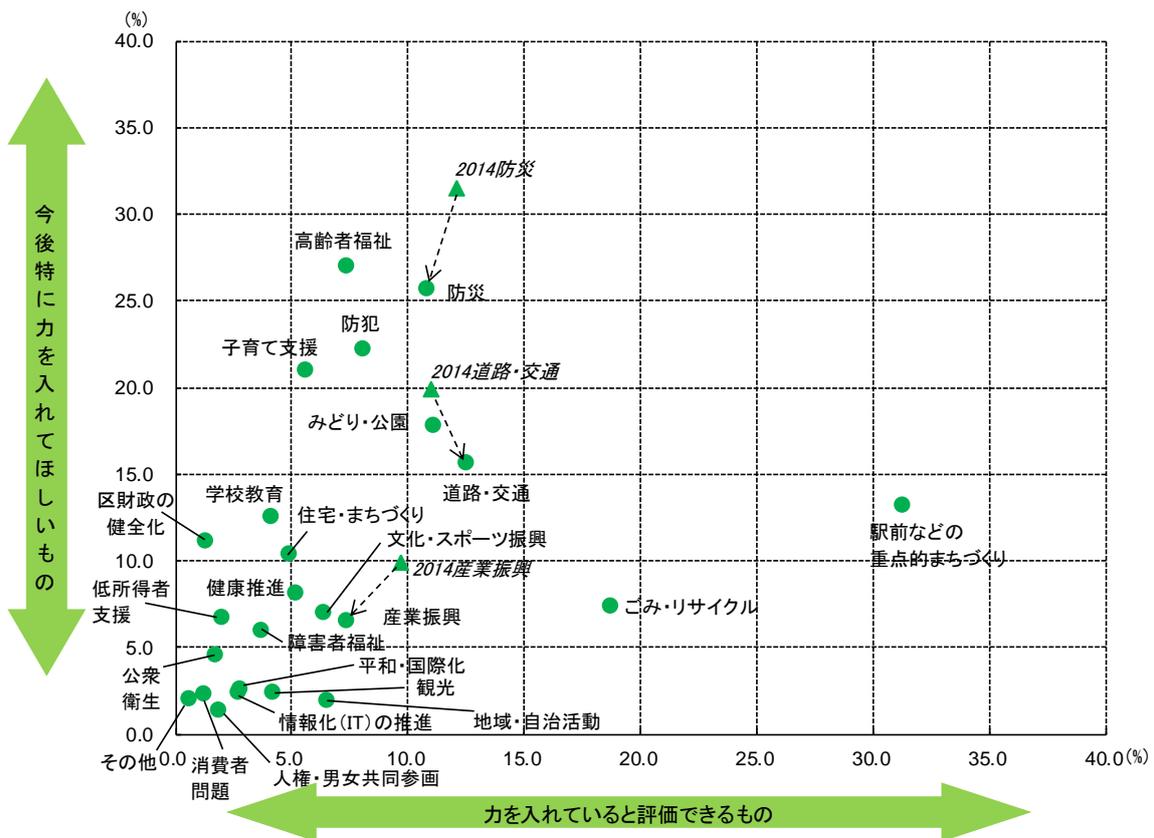


1-1 区の施策への評価と要望（散布図）

区の施策への評価と要望の関係をみるために「力をいれていると評価できるもの」を横軸に「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、23項目とその他の位置をあらわしたのが下の図である。

この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策であることを、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど「評価」は低く、「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」が高く、「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリー別でみると、左上には「高齢者福祉」、「防災」、「防犯」、「子育て支援」が位置づけられている。また、右下には「ごみ・リサイクル」、「駅前などの重点まちづくり」が位置づけられている。



1-2 区の施策への要望（順位の変化）

過去6年および今回の施策要望の上位10位までの推移をみると、上位3施策は毎回上位にあがっており、今回の結果では上位4施策に変動はみられない。また、今回から調査項目に追加された「区財政の健全化」が入っている。

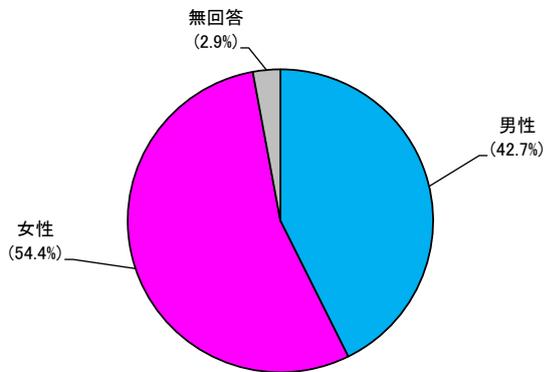
上段は施策、下段は回答割合（％）

| | 第1位 | 第2位 | 第3位 | 第4位 | 第5位 | 第6位 | 第7位 | 第8位 | 第9位 | 第10位 |
|------------------------|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------------|---------------|------------------|------------------|
| 2007 n=1,104 | 防犯 28.4 | 高齢者福祉 27.4 | 防災 25.5 | みどり・環境 18.8 | 健康 15.4 | 子育て支援 13.2 | ごみ対策 12.1 | 公園整備 11.7 | 道路整備 11.1 | 低所得者支援 9.8 |
| 2008 n=887 | 高齢者福祉 26.4 | 防災 26.3 | 防犯 26.0 | みどり・公園 18.3 | 道路・交通 16.9 | 環境改善 14.9 | ごみ対策 12.7 | 子育て支援 12.4 | 健康 10.7 | 学校教育 9.7 |
| 2009 n=1,019 | 防犯 28.0 | 高齢者福祉 25.7 | みどり・公園 21.4 | 道路・交通 18.0 | 防災 17.3 | 子育て支援 14.8 | 健康 12.6 | 環境改善 10.4 | 子ども育成 9.7 | ごみ対策 9.6 |
| 2011 n=1,395 | 防災 28.9 | 防犯 22.9 | 高齢者福祉 22.8 | みどり・公園 21.9 | 道路・交通 16.6 | 子育て支援 16.2 | 環境改善 10.8 | 健康 10.8 | 低所得者支援 10.5 | 住宅・まちづくり 10.2 |
| 2013 n=1,436 | 防災 36.2 | 高齢者福祉 31.6 | 防犯 21.2 | 子育て支援 19.4 | みどり・公園 17.2 | 道路・交通 17.0 | 駅前などの重点的まちづくり 13.3 | 健康推進 12.2 | 学校教育 12.1 | 住宅・まちづくり 12.1 |
| 2014 n=1,249 | 防災 31.5 | 高齢者福祉 27.1 | 防犯 20.7 | 子育て支援 20.7 | 道路・交通 19.9 | みどり・公園 17.6 | 駅前などの重点的まちづくり 14.8 | 学校教育 12.6 | 住宅・まちづくり 10.4 | 産業振興 9.9 |
| 2015 n=1,277 | 高齢者福祉 27.0 | 防災 25.7 | 防犯 22.2 | 子育て支援 21.0 | みどり・公園 17.8 | 道路・交通 15.6 | 駅前などの重点的まちづくり 13.2 | 学校教育 12.5 | 区財政の健全化 11.1 | 住宅・まちづくり 10.4 |

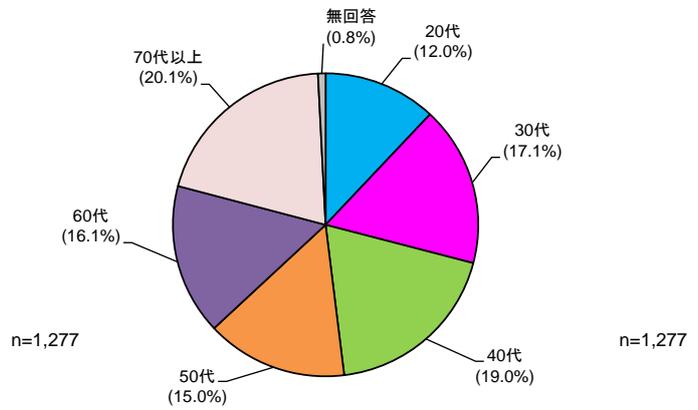
* 同率（％）の場合は、同順位である。

回答者属性

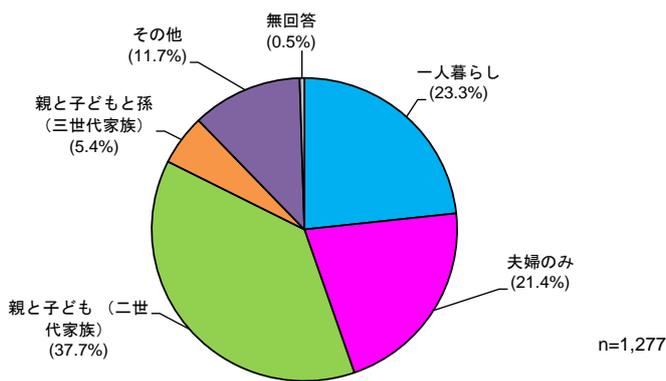
【性別】



【年代】



【家族構成】



【居住地域】



2015 中野区区民意識・実態調査概要版
 平成 28 年 2 月
 文書番号 27 中政企第 570 号
 発行 中野区政策室企画分野政策情報担当
 〒164-8501
 東京都中野区中野 4-8-1
 電 話 03-3228-8892
 F A X 03-3228-5643